

# 『都民の消防官』を受章

浅草消防署の署員が第76回「都民の消防官」  
(機関運用功労) に選ばれました。

※ 都民の消防官とは、産経新聞社の主催及びフジサンケイグループの後援により消防の第一線で活躍している職員を対象に、都民の生命、身体、財産を火災等から守るため、長年にわたり職務に精励し、その功績が特に顕著な消防官を選出し、「都民の信頼と感謝を集める人」として広く都民に紹介するため昭和30年(1955年)に制定されたもので、これまで351人が受章しています。



## — 活動支える「縁の下の力持ち」 — 藤代 智久 消防士長

平成2年に入庁し、消防車両の運転や操作を担う「機関運用業務」で実績を重ねました。現在は、浅草消防署浅草橋出張所でポンプ車機関員として最前線で活躍しています。

【藤代消防士長のコメント】

「これからも仲間が無事故で帰れるように事故防止に努め、都民の皆さんの安全を守っていきたいと思います」